



令和5年 第2回 安全対策連絡協議会

令和5年8月23日
在エチオピア日本国大使館



参加者へのお願い

- マイク及びビデオの設定をオフにしてください。
- 発言希望の方は、「挙手ボタン」で合図をお願いします。
- 当地における停電、通信事情により、会議中にトラブルが発生する可能性があります。ご理解願います。



次 第

1. 挨拶
2. 国内情勢
 - (1) ティグライ州情勢
 - (2) アムハラ州情勢
3. 国内治安情勢
 - (1) 危険レベルの改訂
 - (2) 国内全体の治安情勢（含む最近のオロミア州情勢）
 - (3) アディスアベバ市内の状況
4. 医療情報
 - (1) 新型コロナウイルス感染症の現状
 - (2) その他感染症の流行状況
 - (3) チャットに関する注意喚起
5. 大使館からのお知らせ
6. 質疑応答



1. 挨拶



2. 国内情勢

(1) ティグライ州情勢

(2) アムハラ州情勢

(1) ティグライ州情勢（本年4月以降）

本年4月～8月ティグライ州暫定政府と連邦政府は停戦を遵守。 今月林外務大臣来訪時に、日本政府として当事者の前向きな動きを歓迎し、引き続き和平プロセスを履行していくことを期待する旨表明。

2023年

4月 1日	連邦政府、ティグライ州に連邦政府予算の割り付け開始。
5日	<u>ティグライ州暫定政府が正式に発足（ゲタチュウ暫定知事選出）</u>
14日	有志国の当地大使一行、州都メケレ視察。
6月 29日	<u>バイデン米政権、米下院に対し「エチオピアでは大規模で組織的な人権侵害は発生していない」旨報告。</u>
7月 21日	デメケ副首相兼外相とゲディオン法相、当地外交団に対し和平合意、移行期正義進捗に関するブリーフ実施。8月7日、2回目ブリーフ実施。

〈今後の注目点〉

- ✓ **ティグライ州での国政選挙実施：**エチオピア選挙管理委員会は「ティグライ州での選挙は時期尚早」と言及。
- ✓ **移行期正義の実施：**移行期正義の実施方針は目下連邦政府主導で、国連人権高等弁務官事務所の支援を得て協議。今後具体的政策が発表、実施される見込み



(2) - 1 アムハラ州情勢

Fanoはアムハラ州各地域に展開する、統一した軍事組織を持たない民間武装勢力。本年4月の連邦政府による各州特別部隊の解散決定に強く反発、ENDFとの間で戦闘が発生。

歴史：組織誕生は抗イタリア戦争まで遡り、抵抗の象徴。**EPRDF政権時に武装蜂起**し、アムハラ州内では**政権崩壊に貢献したとして称賛**。ティグライ紛争時にはENDFとの共同作戦に参加。

規模：国内約**600万人**（指導者発表による）

組織構造：構成員の多くは若者。**軍事組織の編成単位等はなく、ゲリラ的な戦闘を展開**。





(2) - 2 アムハラ州情勢

ENDF・FANO間の衝突により、アムハラ州内の主要都市、空港が一時FANOの支配下に。4日連邦政府は、アムハラ州の要請により非常事態宣言を発令(明年3月まで有効)。



【今後の注目点】

- ✓ **戦闘再開**：8月23日時点、国防軍が優勢。FANO支配下にあった地域も落ち着いているが、ゲリラ戦の可能性あり。
- ✓ **我が国の対応**：8月11日米、英、豪、ニュージーランドと共にアムハラ州の治安情勢を懸念する旨の共同ステートメント発出。
- ✓ **和平交渉**：連邦政府が確固たる組織FANOと交渉できるのかがポイント。



(2) - 3 アムハラ州情勢詳細



3. 国内治安情勢

(1) 危険レベルの改訂

(2) 国内全体の治安情勢

(含む最近のオロミア情勢)

(3) アディスアベバ市内の状況

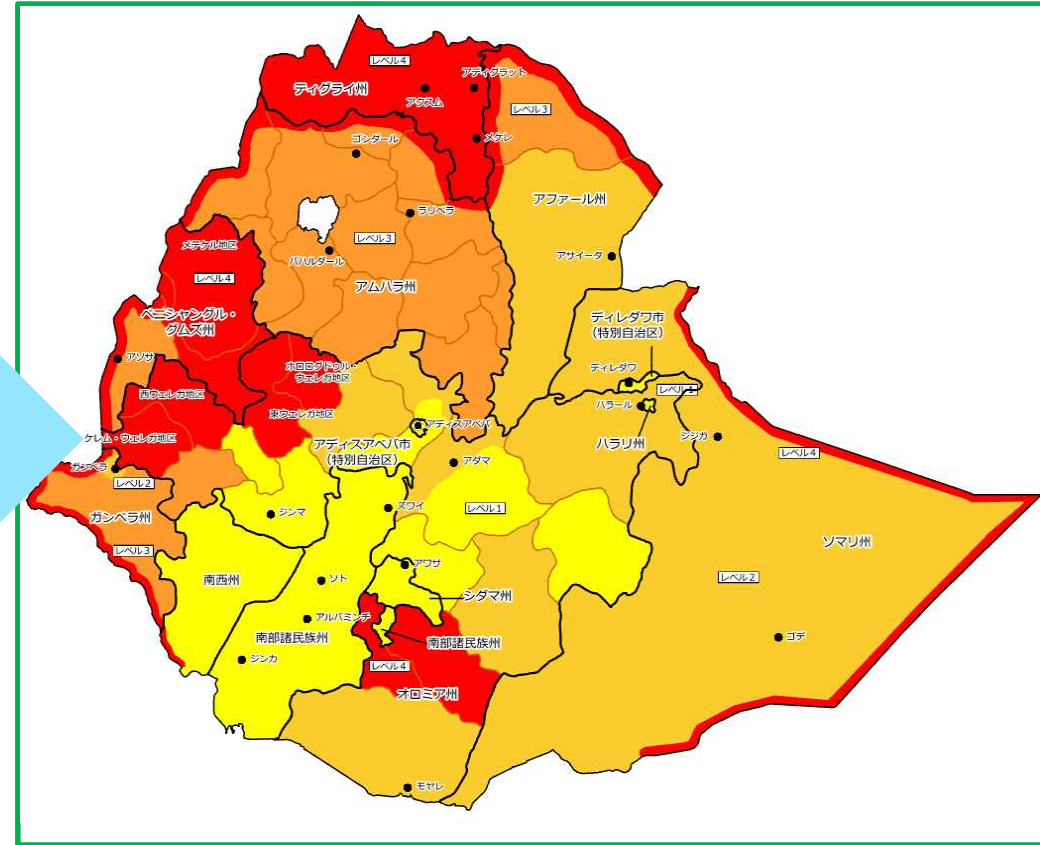
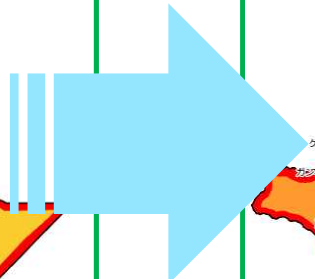
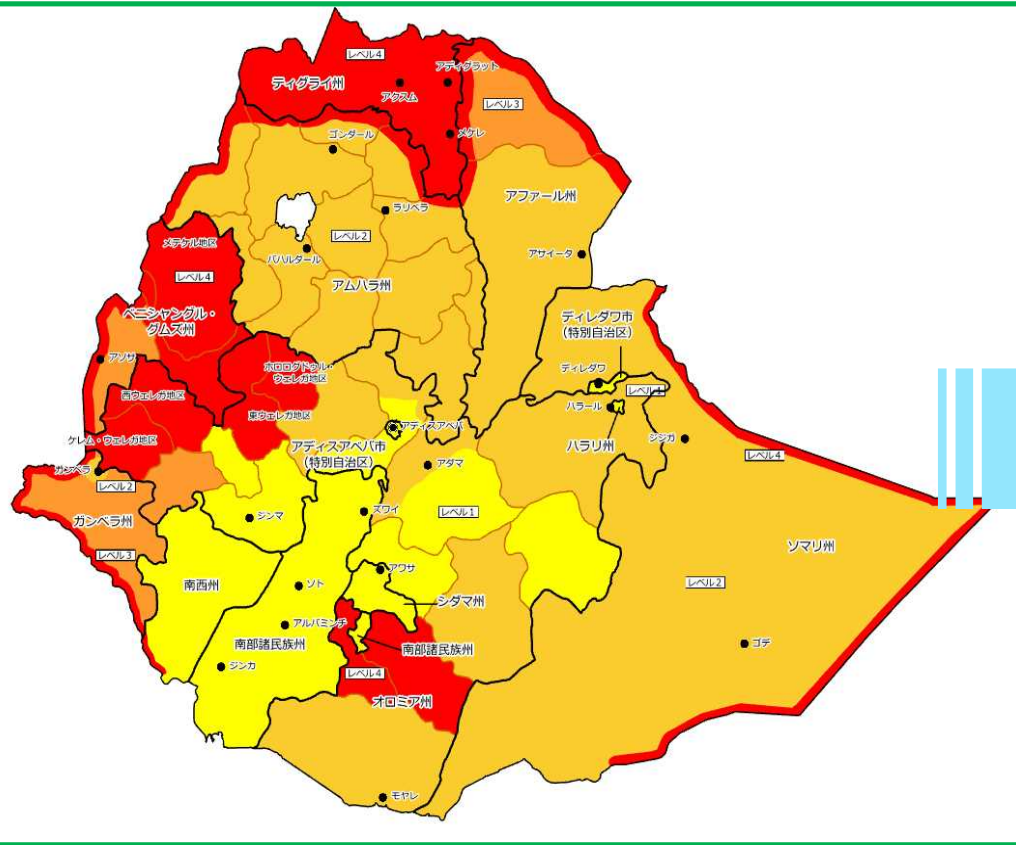
(ア) イスラム教徒と治安部隊との衝突の発生

(イ) 邦人被害案件と防犯対策



3. (1) 国内治安情勢：危険レベルの改訂

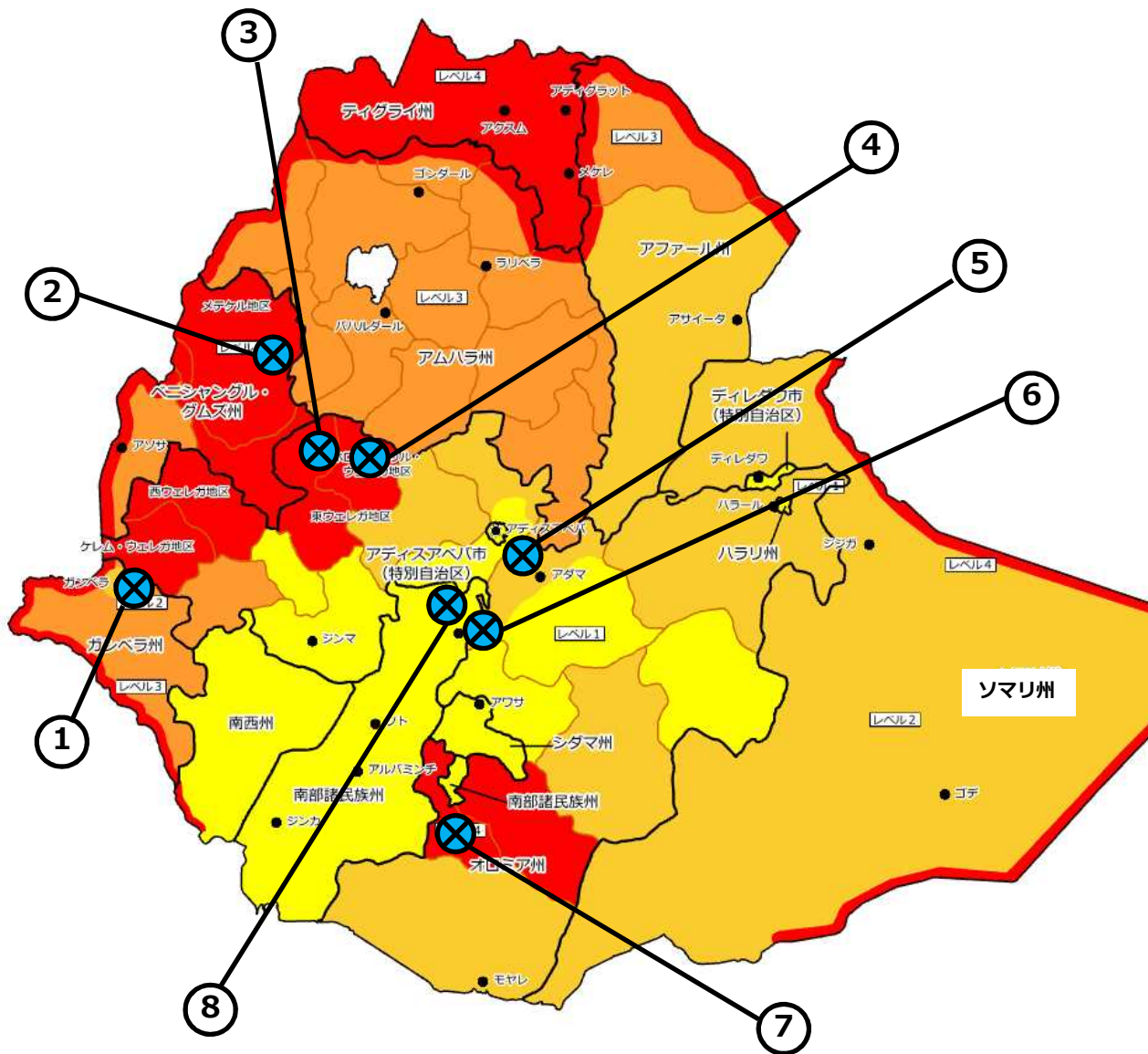
2023年8月8日改訂



- レベル1** 十分注意してください。
- レベル2** 不要不急の渡航は止めてください。
- レベル3** 渡航は止めてください。(渡航中止勧告)
- レベル4** 退避してください。渡航は止めてください。(退避勧告)

【ポイント】
アムハラ州全域のレベル引き上げ (2→3)

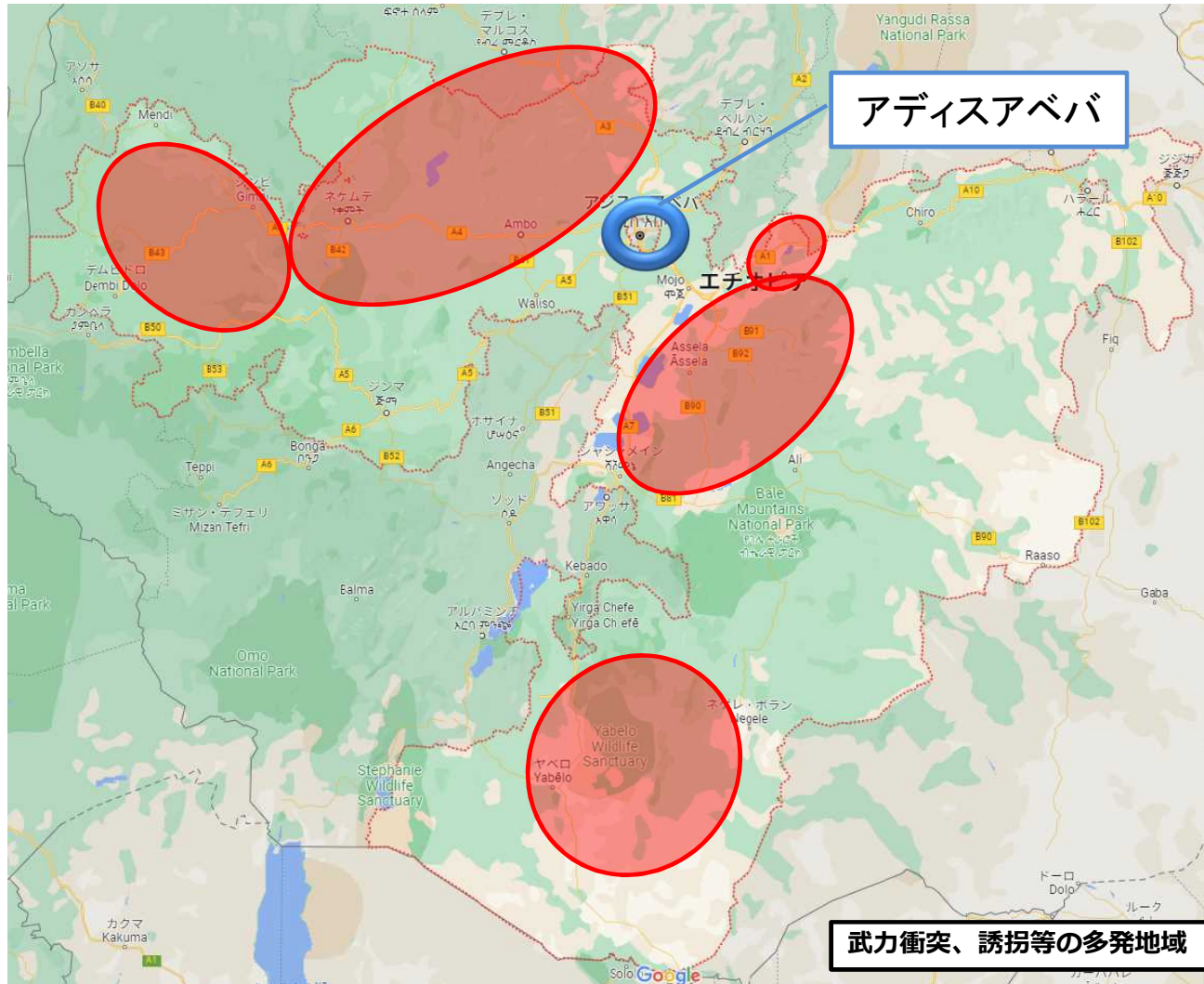
3. (2) 国内全体の治安情勢 1



番号	場所	詳細
①	ガンベラ州	7/18、ガンベラ市で、アニュアク族とヌール族との間での衝突が発生。 30人以上死亡 。Itang特別郡などでも両部族の衝突により多数の死傷者。
②	ベニシャングル・グズム州	7/7、メテケル県Gilgel Bellesで、武装集団による襲撃により少なくとも 治安部隊8人死亡 。
③	オロミア州 東ウエレガ県	6/15、Kiremuでアムハラ系武装集団が村を襲撃。 8人死亡、13人負傷 、家畜等を略奪。
④	オロミア州 和ゲドゥル・ウェレガ県	5/20、Fincha製糖工場周辺で武装集団と治安部隊との戦闘。 工場労働者11人と付近住民3人死亡 。
⑤ ⑥	オロミア州 東シェワ県	5/14、OLAとみられる武装集団が囚人解放を目指してBishoftuの警察署を襲撃。少なくとも 警察官4人死亡 。 6/11、OLAとみられる武装集団が囚人解放を目指してZiwayの警察署を襲撃。少なくとも 警察官3人死亡 。
⑦	オロミア州 西グジ県	6/6、Bule Horaで武装集団が公共バスを襲撃。 市民2人死亡、4人負傷 。
⑧	南部諸民族州 グラゲ県	7/29、Didaで市場へ向かう人々を武装者が襲撃。少なくとも 市民7人死亡 。



3. (2) 国内全体の治安情勢 3 : オロミア州



● 5月3日

タンザニア・ザンジバルで行われていた連邦政府とOLAとの和平交渉は、合意に達せず終了（両者とも協議継続の必要性は認識）。

● 5月中旬以降

OLAと治安部隊との衝突等が州内各地（特に西グジ県、東ボレナ県、西シェワ県、東シェワ県、アルシ県、ホログドゥ・ウェレガ県、東ウェレガ県等）で発生。

OLAによるとみられる誘拐事案等も各地で発生。

- 例）・ 6/22 東シェワ県Sodere
結婚式へ向かう人々が誘拐され一人あたり身代金30万ブル支払って解放。
- ・ 7/29 北シェワ県Kuyu
バハルダールからアディスアベバに向かっていた公共バスが襲われ65人が拉致。



3. (3) アディスアベバ市内の状況

- **イスラム教徒と治安部隊との衝突**
- **邦人被害案件と防犯対策**

イスラム教徒と治安部隊との衝突発生

事案概要

● 5月26日（金）

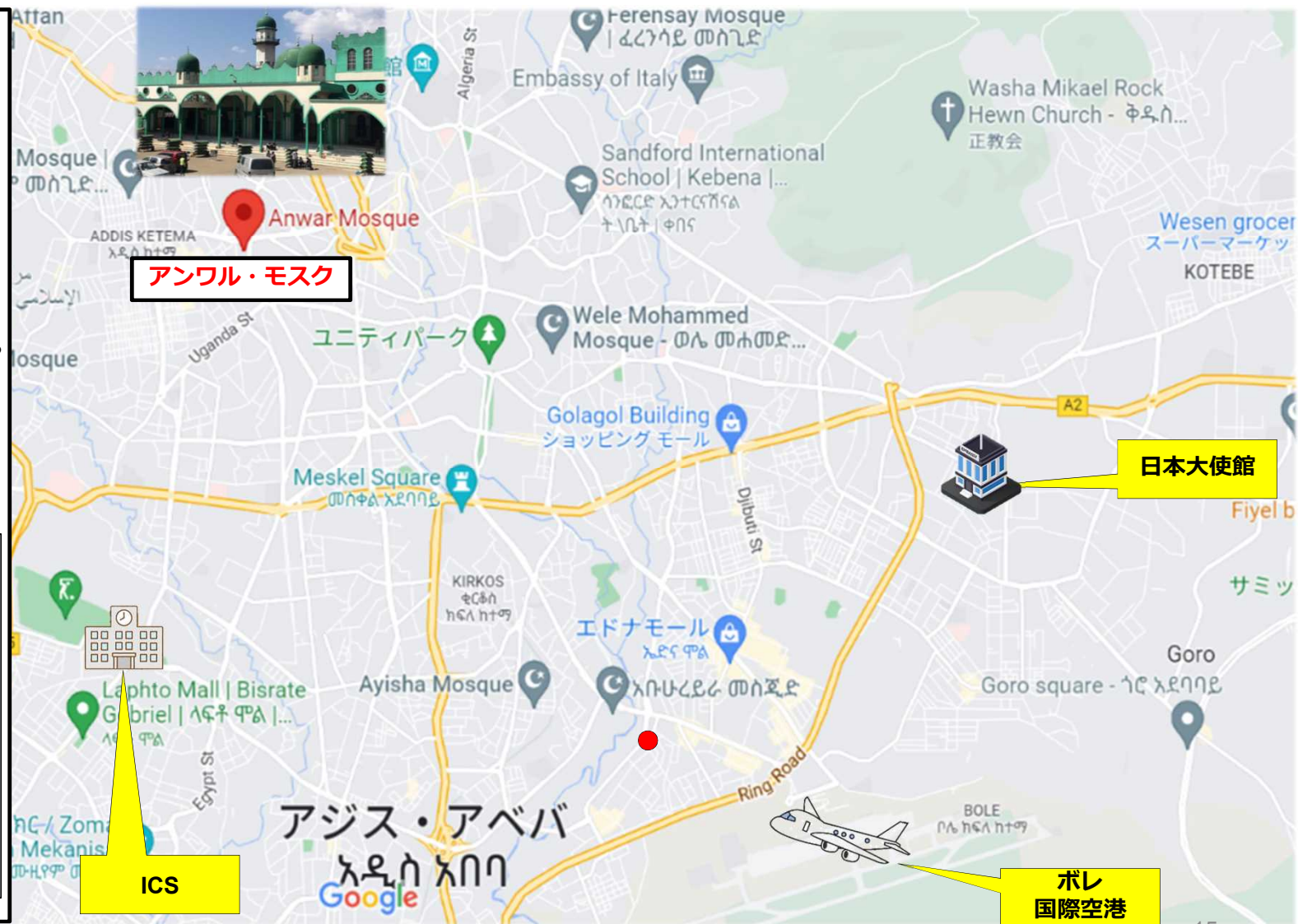
アンワル・モスクでの金曜礼拝後、Shaggar市のモスク取り壊しに抗議していたイスラム教徒のデモ隊と治安部隊とが衝突。少なくとも**イスラム教徒2人が死亡、40人以上が負傷**。

● 6月2日（金）

アンワル・モスクでの金曜礼拝後に、再度イスラム教徒と治安部隊とが衝突。少なくとも**イスラム教徒3人が死亡**。
⇒6/19 国際テロ組織アルカイダがエチオピアでの聖戦を呼びかける声明を发出

※注意

- ・デモ等が行われている場所や群衆が形成されている場所、銃声・異音のする方向には決して近付かないで下さい。
- ・デモ活動の現場近辺に居合わせた場合には、周囲の状況に常に注意を払うとともに、その場を離れる等、不測の事態に巻き込まれないよう注意を払ってください。





アディスアベバ市内での邦人被害案件

前回協議会（4月13日）以降に発生した邦人被害

	発生日時	場 所	被 害	被害詳細
1	5月12日	アディスアベバ市 Best Western Plus Pearl Hotel付近	スマートフォン 窃盗被害 (スリ)	被害者と友人2名で徒歩移動中、前方から来た物売り3名に話し掛けられ、 1名に右腕を掴まれ振りほどいた 。3名が去った後、ズボン左ポケットに入れていたスマートフォンが無くなっていた。
2	5月12日	アディスアベバ市 Yod Abissinia Restaurant付近	スマートフォン 窃盗被害 (ひったくり)	被害者が単独徒歩移動中、前方から歩いてきた男2名に話し掛けられた。被害者が応じたところ、 1名に突然右腕を掴まれ、それを離そうとしている間に 、もう1名にズボン左前ポケットに入れていたスマートフォンを窃取された。
3	NA	路上（駐車中）	車両サイドミラー 盗難	飲食店前に車両を駐車し邦人が食事中、運転手が車両から離れた際に 畳んでいなかったサイドミラーのミラー部分が窃取されていた 。
4	NA	路上（信号待ち停車中）	車両サイドミラー 盗難	渋滞により停車中（邦人は乗車しておらず、運転手のみ）、3名に車両を取り囲まれた。運転手が後方に意識を向けていたところ、 3名のうちの1名がサイドミラーのミラー部分だけ窃取し、逃走した 。
5	7月10日	エドナモール付近の飲食店	飲食店高額請求 (590USD支払い)	被害者が夜間単独徒歩移動中、日系企業で勤務経験があると称する男性から声を掛けられ意気投合し、 男性が勧める飲食店に同行 。会計時、飲食した物と釣り合わない金額を請求され、やむなく支払いに応じた。
6	NA	マスカルスクエア付近路上 (信号待ち停車中)	寄付の要求	邦人が運転する車両が信号待ちで停車中、スーツを着用したアフリカ系男性から日本語で話し掛けられ応じたところ、寄付を要求された（邦人は寄付に応じなかった）。



アディスアベバ市内での邦人被害案件 対策

誰でも被害に遭う可能性があります。他人事と思わず自衛を心がけてください。

	被害	手口	対策等
1	スマートフォン 窃盗被害 (スリ)	・物売りを称する複数の人物によるスリ ・1名が注意を被害者の注意を引いている際に他の人物が所持品の奪い去る行為。	・徒歩での移動は極力避ける ・接近する人物には十分に警戒・近寄らせない
2	スマートフォン 窃盗被害 (ひったくり)	・上記同様、複数の人物によるひったくり行為 ・腕を掴む、唾をかけるなどして、注意を引いている際に所持品を奪い去る行為。	・所持品は内ポケットなどに収納 ・携帯電話には、ストラップを付けることで被害を防げる
3	車両ミラー 盗難	・停車中の車両から強引にサイドミラーのみを奪う	・サイドミラーに盗難防止用の「フック」を取り付ける ・駐車する際は、極力サイドミラーをたたむ
4	飲食店高額請求 590USD支払い	・被害者に対し、自身が日本に関連する人物であることを語り、飲食店に同行させる等	・路上やホテル内で突然話し掛けてくる人物には取り合わない ・話しを聞いた場合、怪しいと感じる点があればその場を立ち去る。



盗難被害防止対策例

ファスナーロックの例



カバン内の貴重品盗難防止に有効
(カバンに付帯してるものある)

ネックストラップの活用



盗難防止（紛失・落下破損防止に有効）



4. 医療情報

- (1) 新型コロナウイルス感染症の現状**
- (2) その他感染症の流行状況**
- (3) チャットに関する注意喚起**

(1) 新型コロナウイルス感染症の現状：エチオピア

- ・ 5つの大流行を経験。2021年12月の第4波が最大。第5波以降、落ち着いている。
- ・ 帰国時、欧州渡航時は感染状況にご注意を。

① エチオピアの感染状況

500,946

confirmed cases

新規感染者数/日

1 2 3 4 5 6

Dec 31
2020

Dec 31
2021

Dec 31
2022

7/11以後は0人
が続いている

7,574

deaths

新規死者数/日

※縦軸のスケールは異なります

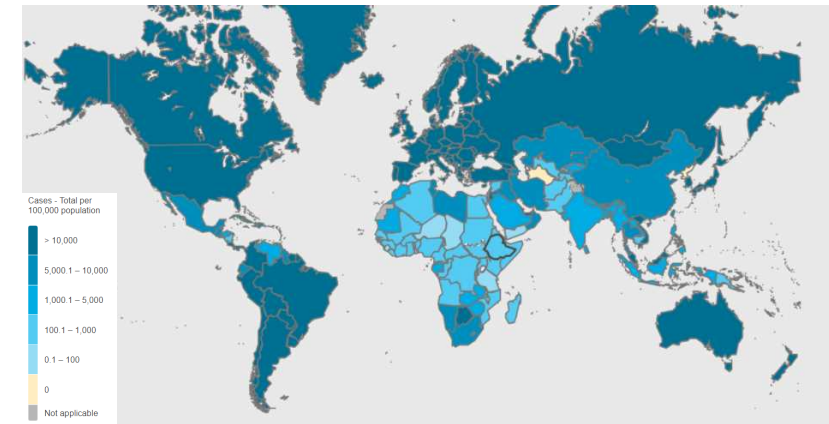
Dec 31
2020

Dec 31
2021

Dec 31
2022

Source: World Health Organization

対10万人口 WHO [2023年8月16日時点]



アフリカでの感染者数(報告数)が少ない。

② 世界の感染状況

- ・ 日本米国など流行地では、オミクロン株の亜型EG.5が主流へ。
2023年7月17日から23日の間、7.6%から17.4%に増加。
- ・ EG.5はXBB.1.9.2の子孫系統。感染力强く、免疫を逃避する傾向がみられ、注意すべき変異株 (VOI) に指定。しかし重症化はしない模様。

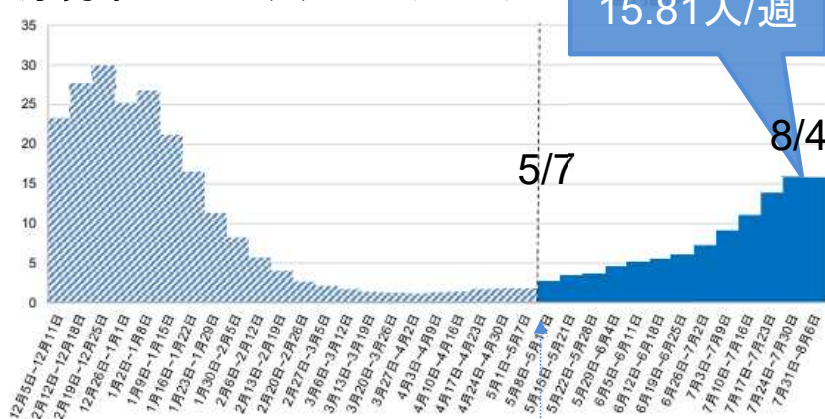
エチオピアは、10万人中436人が既感染
(日本は10万人中、2.67万人が既感染)

エチオピアのワクチン接種率(5月28日時点)
・ 1回以上 42.5% ・ 初回投与 (Pfizer 2回) 35.4%
・ ブースター接種 データなし

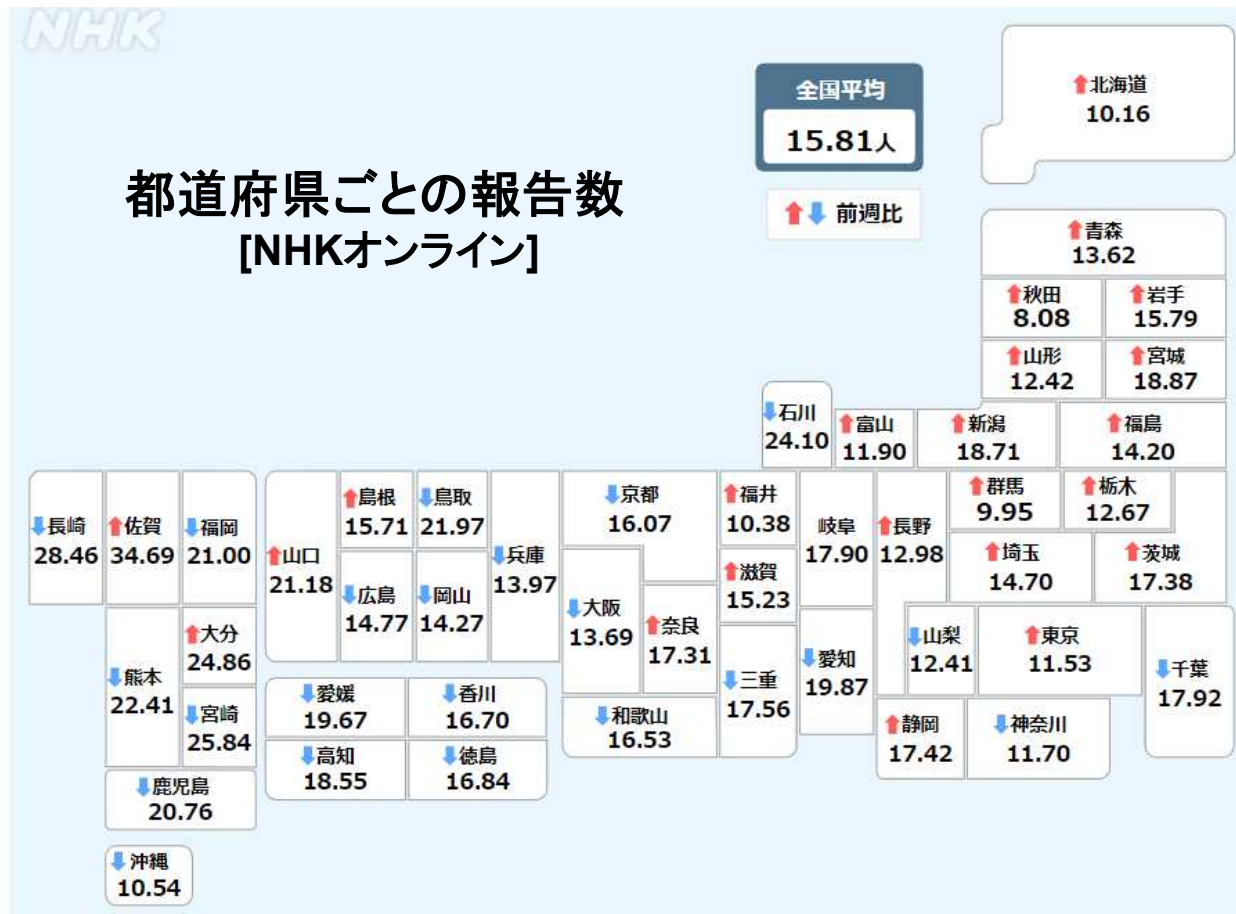
(1) 新型コロナウイルス感染症の現状：日本

- 日本は5類に移行後は、医療機関毎の定点観測に移行。（新規感染者総数は不明）
- 1医療機関あたり、1週間での平均報告者数

➤ 厚労省プレスリリース(8/14)



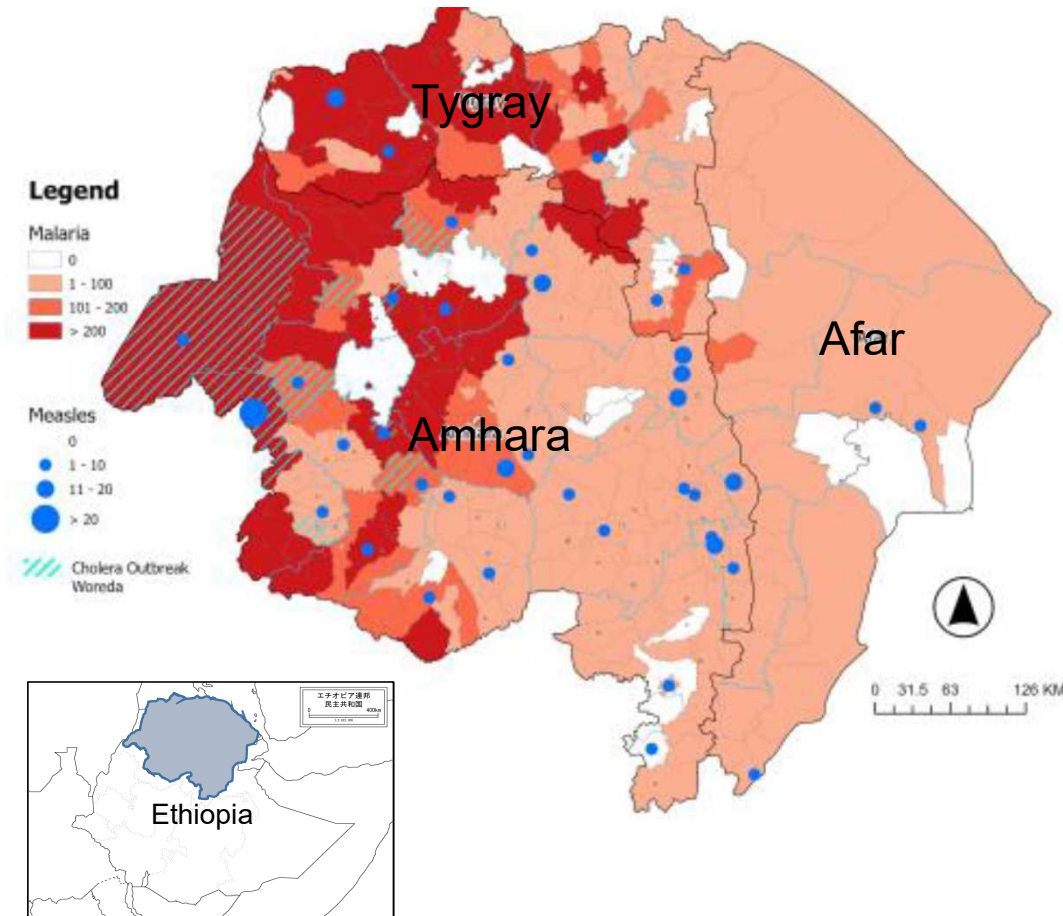
➤ WHOデータ 5月7日まで



(2) その他感染症の流行状況

【マラリア】

北部エチオピアでのマラリア(茶色別)
2023年7月19～16日の1週間

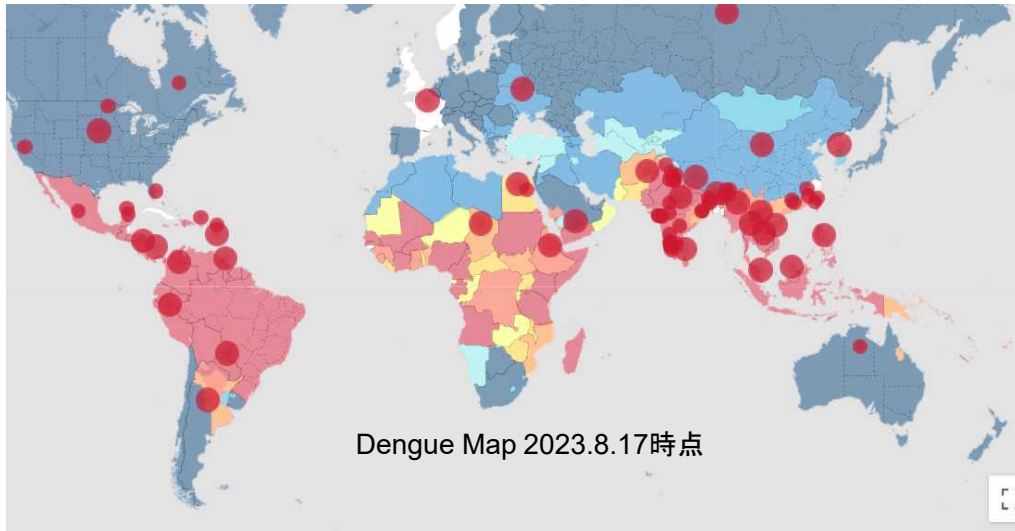


- ・2023年7月16日まで
総感染者数 1,568,720人
16日までの1週間で 97,458人
死者数 184人 (致死率0.01%以下)
- ・感染者数推移(前週との比較)
アムハラ州は 12% 減少.
アフール州は 27.0% 増加.
ティグライ州は 2.1% 増加.
- ・保健省(EPISA)は、薬剤浸透蚊帳、迅速検査キット、治療薬を追加寄付。
- ・パートナーは僻地までの物資輸送を支援
- ・WHO 8月15日、An.Stephensiへの5つの取り組みを公表.

(2) その他感染症の流行状況

【デング熱】

デング熱の世界的流行状況



Dengue Map 2023.8.17時点

Map Layers

HealthMap Reports

Recent reports of local or imported dengue cases from official, newspaper, and other media sources. Source.

● Country Level ● Local Level

Global Consensus Map (2013)

Risk areas determined by consensus between sources including: national surveillance systems, published literature, questionnaires and formal and informal news reports. Source.

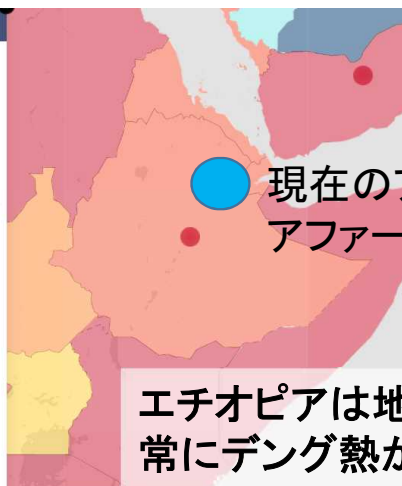
Absent Unlikely Uncertain Likely Present

CDC Yellow Book Map (2012)

CDC Yellow Book Map (2010)

Endemic risk areas determined using data from Ministries of Health, international health organizations, journals, and knowledgeable experts. Source.

Endemic Area



現在のアウトブレイクは
アフール州ミレ地区

エチオピアは地域レベルで
常にデング熱が発生。

・2023年7月27日時点で、世界中で感染者総数300万人以上、死者1,500人以上。

・アジア、中南米以外で、アフリカで流行。北米、欧州は輸入例がメイン。

・エチオピアでは2013年以来、ほぼ毎年検出。

・2023年5月10日時点

総感染者数 1,638人

総死者数 9人(致死率0.6%)

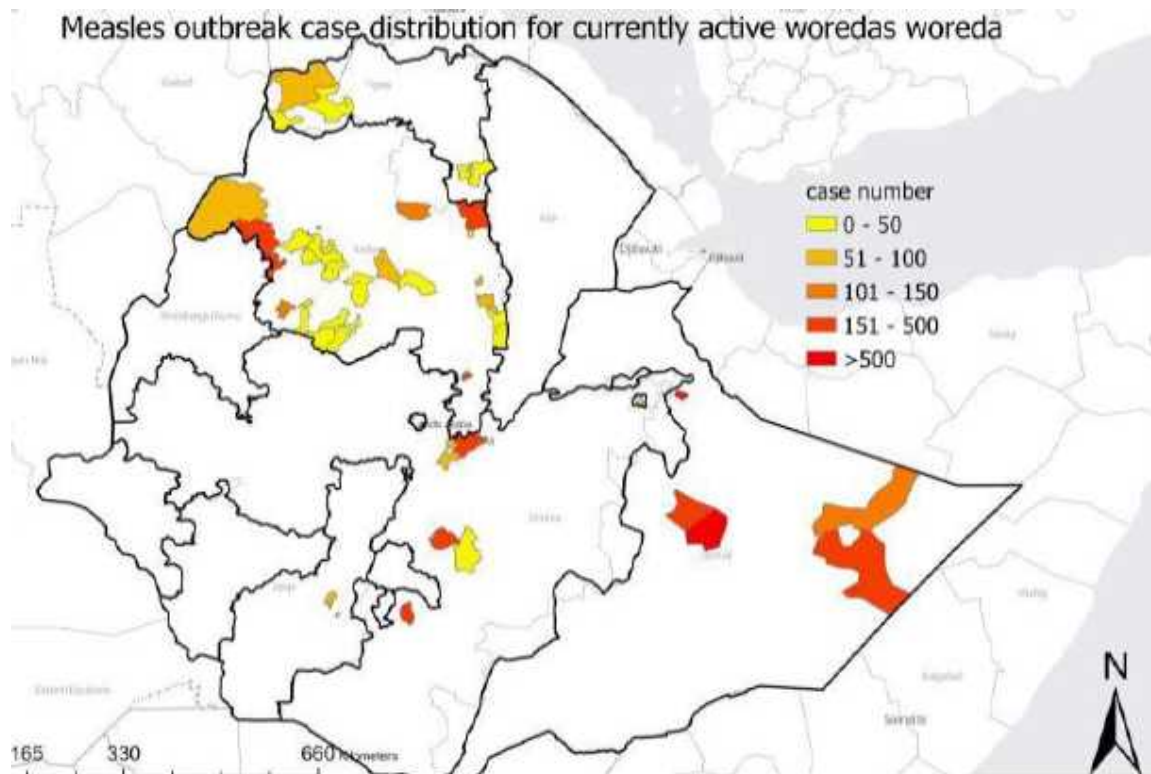
アフール州 67例(7月18日時点)

・WHOはアフール州の医療施設に監視ツール、緊急医薬品、医療物品を提供。

(2) その他感染症の流行状況

【麻疹】

麻疹症例分布 (2023年7月20日時点)



- ・感染者数(疑い患者数)

総感染者数 22,920例 死者数 227例
ソマリ 29% オロミア 24%
アムハラ 23% SNNP 15%

- ・新規感染者の91%がアムハラ州。

- ・麻疹ワクチンを接種していれば、感染しても発症、重症化しにくい。

※1990年以後生まれ、は2回定期接種済み
1978年以前と2008年からの移行期間に接種漏れ？

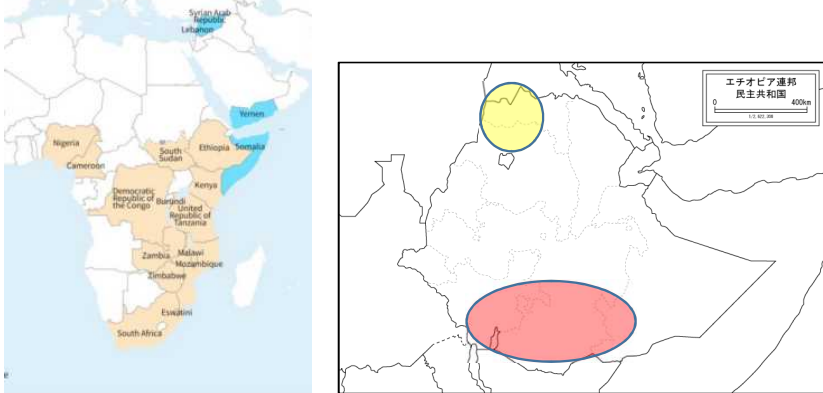
- ・発症すると大人でもかなり辛い。
発熱、咳、皮疹(頭頸→全身)、全身倦怠感
時に脳炎に到る重症化も

- ・流行地でワクチン接種キャンペーン実施

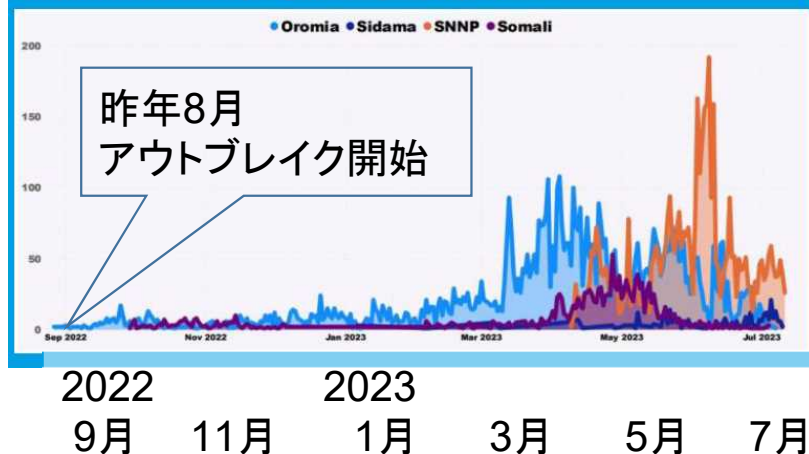
(2) その他感染症の流行状況

【コレラ】

WHO Multi-country outbreak of choleraより



Daily cholera cases by region as of 19 July 2023



4州内訳
オロミア州 52%、SNNP33%、ソマリ州12%、シダマ州 3%

- ・昨年8月から
感染者総数 13,694人 7/19までの1週で675人
死亡者数 179人 (致死率:1.31%)
※アディスアベバで2例の報告あり → 首都での蔓延が懸念される
- ・流行は、昨年8月の干ばつの影響を受けた4州(オロミア、ソマリ、SNNP、シダマ)から始まり、4月以降、拡大。
- ・アムハラ州西ゴンダール地方でアウトブレイク中
感染者総数2,185名、死者37名 (致死率: 1.7%)
- ・WHOは調査団派遣、物資供給、治療センター、研修.
- ・保健省は、感染リスク地の450万人を対象に8月上旬から経口コレラワクチンの接種キャンペーン実施

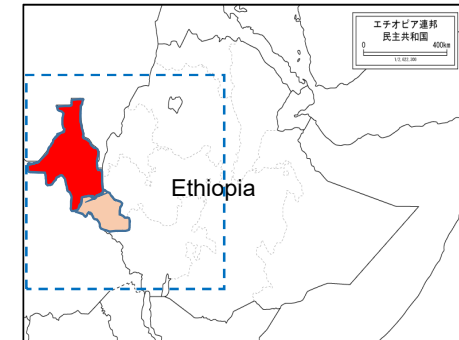


(2) その他感染症の流行状況

【ウイルス性出血熱疑い例】

〈WHOエチオピア事務所、WHO南スーダン事務所情報〉

- ・南スーダン上ナイル州、エチオピア国境に近い山岳地帯で発生。
ベニシヤングル・グムズ州、オロミア州、ガンベラ州が隣接。
- ・疑い症例が359人、19人の死亡が報告されている。
- ・症状 ※各症状の発症頻度は不明
38～39℃の高熱、血液が混じった嘔吐、血便、咽頭痛、
全身発疹、目の充血、鼻水やくしゃみ、目のかすみ、咳、かゆみ
→ウイルス性出血熱の警戒と調査開始。
- ・8月16日現在、ウイルス性出血熱の原因ウイルスは未検出。
- ・45例中26例で、熱帯熱マラリア陽性、他に麻疹、コロナも。
- ・エチオピア側から感染者発生の報告はなし。
- ・WHO、CDC、保健省が調査継続中。





(3) チャットについて

○チャット(カート)はCatha Edulisという植物の葉

- ・儀式、社交等で嗜好品的に使用。エチオピアの重要輸出品。
- ・葉を噛むと、成分が変化し、高揚感、時に幻覚。

○噛むのを勧められても固辞して下さい！

- ・含有成分「アルカロイドカチノン」は、**覚醒剤**成分。
- ・半減期が約24時間と長く、一度噛むと長く体内に残る。
- ・精神依存と身体依存あり、常習は精神崩壊を招く。
- ・日本や欧米では非合法薬物に指定。
→所持、使用は麻薬及び向精神薬取締法違反。
- ・ジブチ、ケニア、ウガンダ、エチオピア、ソマリア、
スーダンでは合法、南アでは所持は合法(使用は違法)
- ・成分が抽出された(サプリメント的な)製品あり。要注意。



チャットの葉



成分を抽出した製品(一例)

参考)厚労省 麻薬の新規指定について(平成24年6月29日発行)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002e6g1.html>

※3番目の「4-メチルメカチノン」と「メフェドロン」がこれに相当



5. 大使館からのお知らせ

(1) 在留届の提出について

(2) 在外選挙について

(3) 緊急事態への備え

在留届けの提出について

いつ起こるかわからない事故や災害、緊急事態・・・

自分や家族の安全のためにもいざという時に役立つ「**在留届**」



在留届を提出していただくことにより、緊急事態が発生した場合には、大使館や総領事館よりメールによる通報や迅速な援護が受けられます。

外国に**3か月以上滞在**する方は ⇒ 在留届
外国滞在が**3か月未満**の方 ⇒ たびレジ

登録の方法は以下のとおりです。

オンライン在留届 (ORRネット)による提出 (<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/>)



※ 在留届けは直接大使館に提出頂くことも可能です。

身近に未提出の方がいた際には、ご案内をお願いいたします。

在外選挙について

➤ Q : 在外選挙人制度とは？

A : 海外に住んでいる人が、**外国**にしながら**国政選挙**に**投票**できる制度のこと。
これによる投票を「**在外投票**」といいます。

➤ Q : 在外投票ができるのは？

A : 日本国籍を持つ18歳以上の有権者で、**在外選挙人名簿**に**登録**され、**在外選挙人証**を**持ってる人**

登録は簡単です

必要書類を準備し申請書に記入、
大使館、総領事館窓口で登録申請

3か月後に大使館などから
住所確認の連絡を受ける

選挙人証の受取

外国に住んでいても、
あなたの一票が国政に生かされる、
それが「在外選挙」です。

用意するもの



旅券

申請書



居住している事を
証明できる書類



大使館

固定電話
または葉書



この他にも、出国時登録申請もあります。
詳細は、以下URLをクリック
<https://www.soumu.go.jp/senkyo/netsenkyo.html>

※申請書や選挙人証が海外・国内を往復するため2・3か月かかります ※選挙人証受取は郵送又は窓口での受取が選べます

在エチオピア日本国大使館 緊急事態に備えた「安全のしおり」



緊急連絡先

在エチオピア日本国大使館

住 所 : P.O.BOX 5650, Bole Sub-city Woreda6, House No.431, Addis Ababa, Ethiopia

目標物 : Megenanga AMCE
(メガラツニャ アミーチェ)
Megenanga Johnny Garage
(メガラツニャ ジョニーガ
レージ)

代表電話 : 011-667-1166

代表FAX番号 : 011-667-1177

電子メール : Japan-embassy@ad.mofa.go.jp

緊急FM放送 : 99.0MHz
(アディスアババ非常事態宣言時の午前9時、午後0時正午、午後3時、午後6時に放送)

～平時に準備しておきたいこと～

●旅券および在留届けの提出

- 旅券 : 6か月以上の残存期間があるか確認
(6か月以下の方は、当館にて旅券切替発給を申請してください)
- 旅券最終項の「所持人記載欄」を漏れなく記載
(空欄に血液型も記入)
- 在留届けの提出・たびレジの登録
大使館が発出する安全等に関する情報を受け取れます。

●医療・衛生用品

- 必要な医薬品(常備薬、消毒液、絆創膏など)や生理用品、洗面道具、ウェットティッシュ
- 乳児関連物資(ミルク、オムツ等)
- 毛布、寝袋等の寝具、トイレットペーパー

●自動車

- 緊急時に備え、十分なガソリンを入れておく
- 平素からの点検・整備、予備タイヤ



●現金等

- 現金(米ドル、エチオピアブル)、クレジットカード
※米ドルは一人あたり、1,000ドル程度を用意
- 身分証明書を旅券とともに持ち出せるよう保管

●物資等の備蓄

- 水・食品の備蓄(家族の人数×5日分程度)
治安悪化により、フードデリバリーサービスを利用できない場合や外出が制限される可能性もあります。
※備蓄品例
 - ・飲料水 : 一人あたり1日3ℓ
 - ・主 食 : 米、パスタ、パン、麺類など
 - ・缶詰、ビスケット
 - ・飴やチョコレートなど甘い物(必要に応じて)
- トイレ、洗い物用としての水
- 着替え(下着、防寒着、長袖)



●生活用品

- 懐中電灯、ライター、マッチ、ろうそく、ラップ
- 電池、ラジオ、ティッシュペーパー、軍手、ペン、ノート、雨具、サランラップ、カトラリー
- 万能ナイフ、缶切り、調理用のガスボンベ

●携帯電話

- 平素から充電をしておく、バッテリーバックの確保
- 十分なクレジットを確保、肌身離さず携帯

●感染症対策用品

- マスク、手指消毒用アルコール
- ビニール袋(手袋としても代用可能)



基本姿勢

- 海外居住（三か月以上の滞在）の際は、在留届けの提出
- 短期の滞在時（三か月未満）には、たびレジの登録
- 騒乱、暴動、テロ等が発生した際は、自宅待機が基本
- 最新の情報を入手（新聞、TV、ラジオ、インターネット、SNS）
- 大使館からの領事メール、ホームページを随時確認
- 有事に備えて、平時のうちから備蓄品を準備
- 戦闘地帯、集会やデモ開催場所、爆発現場には絶対に近づかない
- 徒歩での外出を極力避ける
- 自身の居場所を家族、同僚に伝える、危険とされる場所には行かない
- 大使館からの安否確認には速やかに回答

暴動等に巻き込まれたら

- 自身の生命・身体の安全が優先、絶対に暴徒や犯人に抵抗しない
- 速やかに現場から離脱、安全な建物内に避難
- 銃声が聞こえたら、速やかに腹ばいの体勢を取り遮蔽物に身を隠す
- デモや暴動に巻き込まれたら、大使館、家族、同僚に連絡
- 警察や治安機関の指示があれば、それに従う



行動基準

在エチオピア日本国大使館では、在留邦人の皆様に対して下記をお願いしております。

- ✓ 状況1：平和的なデモ・集会の発生
（対応）職場・ご家庭で、新聞、TV、ラジオ、インターネット、SNS等で情報収集を行い情勢の把握に努める。
エチオピア人スタッフからの情報も有益です。
- ✓ 状況2：デモ・集会等での暴力的な衝突の発生
✓ （対応）情勢の把握に努め、備蓄品の在庫を確認し不足があれば補充。緊急事態に備える。
- ✓ 状況3：暴力衝突が頻発、大規模な衝突に発展
（対応）商用便の予約が行いやすいタイミングで自主的な出国を検討。
残留する場合は、自宅待機を基本としていつでも出国できるように準備を進める。大使館に所在地を伝える。
- ✓ 状況4：暴動等により市民に危害が及び、生命・身体・財産への危険存在。騒乱・内乱・クーデターが発生。
（対応）自宅待機。商用便による速やかな出国。大使館との連絡を保持し、いかなるタイミングでも出国可能な体勢を取る。

情勢が著しく悪化した場合や、外出禁止令、非常事態宣言、戒厳令等が発出された場合には、大使館からスポット情報を発出して注意喚起を行う場合があります。

※スポット情報とは、特定の国や地域において、日本人の安全に関わる重要な事案が生じた際、あるいは生じる可能性がある場合に速報的に発出される情報です。



ご静聴ありがとうございました。

お問い合わせはこちら

警備領事班

0911-200-721（渡邊）

hideyuki.watanabe@mofa.go.jp

0911-216-773（吉田）

shoichi.yoshida-2@mofa.go.jp



6. 質疑応答